令和２年度 授業改善推進プラン全体計画

大田区立蒲田中学校

☆ 都、区の教育目標

・東京都教育委員会の教育目標

・大田区教育委員会の教育目標

・おおた教育ビジョン令和元～５年度

☆ 学校教育目標

一人一人が自他を認め、尊重し合う豊かな心をもち、自ら考え、自ら学び、自ら行動する人間を育成する。

・**か** ・・・ 考えて行動する
・**ま** ・・・ まじめに学習する
・**た** ・・・ 助け合い協力する

☆ 育てたい生徒像

目標に向かって努力を続け、失敗を恐れず前向きに取り組み、成し遂げる力をもった生徒。

☆ 保護者の願い・期待

落ち着いた学校の維持、思いやりのある生徒の育成、学力・生活力の向上

道徳教育の重点

★ **全ての教育活動における道徳教育の推進や道徳授業の充実に努め、健全な社会生活を送る上で欠かすことの出来ない豊かな心を育成する。**

① 道徳の時間や思いやりを行動で示す教育活動を充実させ、自他を尊重し、友情を重んじる精神を培う。
② 体験的な活動を通して、規範意識と基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を養う。
③ 新学習指導要領実施に向けて、校内研修や道徳授業地区公開講座を通して、「考え・議論する道徳」の授業のあり方を保護者・地域と共に考える。

学校経営方針（学力向上に関して）

★ **「確かな学力」を定着させるため、全教員で効果的な指導を展開する。**

① 授業力の向上
・ＩＣＴ機器をした「分かる授業」への工夫・改善
・個別指導計画による学習支援
② 校内研究・研修の活性化
・hyper-QU の実施と結果の活用
③ 授業改善
・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
④ 学習機会の設定と内容の充実
・定期考査前の自習教室
・補習教室（放課後、土曜日）
・地域と連携した体験学習
⑤ 家庭学習習慣の定着

各教科指導の重点

★ **大田区学習効果測定等の結果をもとに、生徒の実態に応じた指導方法を工夫し、学力向上に取り組む。**

① 全教科で言語活動を取り入れ、知識・技能を活用する学習活動やその成果を踏まえた探究活動、体験学習等を通して、思考力、判断力、表現力を育成する。
② 年間指導計画や評価計画、授業改善推進プラン等に基づき、基礎・基本を定着させる学習指導を行い、「分かる授業」の工夫・改善に努める。
③ 全教員がＩＣＴ機器の活用や教材開発に努め、昨年に引き続き視聴覚に訴える授業を実践する。
④ 英語・数学の補習教室等の個に応じた指導や学習の機会の活用を通して、学習習慣の定着を図り、学習意欲と基礎学力を高める。
⑤ 数学ステップ学習チェックシートなどの振り返りシートを活用し、生徒個々の学習状況を把握し、個に応じた指導を行う。

総合的な学習の時間の重点

★ **地域や学校の特色を生かした体験的な学習を通して自ら課題を見つけ、課題に積極的に取り組む姿勢を養う。**

① テーマを「地域の中に自己の生き方を学ぶ」とし、地域社会に根ざした学校づくりを推進する。
② 地域住民との交流活動を通して社会性やコミュニケーション能力の育成を図り、自尊感情や自己肯定感を高める指導をする。
③ 地域の施設・人材等を活用した体験的な学習・活動を展開する。
１学年：植栽等のボランティア活動。
２学年：職場体験、マナー講習会、高校訪問。
３学年：福祉体験学習。
④ インターネット等の情報機器を活用した調査や発表活動を通して、自ら学び自ら表現する能力を向上させ、生涯にわたって学習する資質や能力を高める。

本校における「確かな学力」

★ **学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、次の力を育成する。**

1 習得した知識を活かして自ら課題を解決しようとする力
2 体験的な学習活動を将来の進路実現に活かそうとする力
3 他とコミュニケーションを取り、話し合って課題を解決しようとする力

【広義の課題解決】
学習指導要領に示された目標及び内容

【狭義の課題解決】
・知識を活用する
・体験を将来に活かす
・他と話し合う

特別活動の重点

★ **集団生活を通してよりよい人間関係を築こうとする自主的・協力的な態度を育成するとともに、自らを高める努力をさせる。**

① 学級指導を充実させ、生徒の主体性を重視した活動を通して、集団と自己の向上に積極的に取り組ませる。
② 様々な行事を通して、生徒相互及び生徒と教員の信頼関係の構築を図り、集団への所属感や連帯感を培う。
③ 生徒会活動や部活動の活性化を通して自主性や協調の精神を育み、自分の言動に責任をもたせる。
④ ボランティア活動や地域行事等への積極的参加により、奉仕の精神や社会の一員としての自覚を高めさせる。

進路指導の重点

★ **キャリア教育の視点に立ち、生徒の発達段階に応じて、自己の適性や職業に対する意識を高め、自己実現を目指す進路指導を展開する。**

① すべての生徒に自分の生き方や進路について主体的に考えさせ、夢や希望をもって努力させる。
② 職場体験、高校訪問、福祉体験等の実践的・体験的な活動を通して、勤労観や職業観、社会や集団の中での役割や責任を果たす行動力を育成する。
③ 適切な情報や資料を提供することにより、生徒が自ら進んで個性を伸ばし、自らの進路を切り開く力を身に付けさせる。

生活指導の重点

★ **生徒一人一人を深く理解し、教員・生徒・保護者との信頼関係を構築し、生徒の心に響く生活指導及び生徒・保護者が納得する指導を展開する。**

① 全教職員が人権尊重を重視し、生徒の発達段階に応じて自尊感情や自己肯定感を育む。また、自他の生命を尊重し、いじめや偏見・差別を許さない生徒集団をつくる。
② 規律ある日常生活や集団生活を通して、規範意識を向上させ、社会の一員としての常識や正しい態度を身に付けさせる。
③ 年間の生活目標を「思いやり」とし、自ら思いやりを行動で示す生徒を育てる。
④ 教育相談や教員間の情報共有による組織的な対応や家庭との連携を強化し、非行の未然防止・拡大防止・再発防止に努める。
⑤ 関係諸機関との連携強化、安全指導や食育に関する指導の充実を通して、生徒の安全に対する意識の向上や心身の健康の保持・増進を図り、自己管理能力を高めさせる。

学力向上委員会の役割

① 学力調査の結果分析、授業改善推進プランの作成・活用の推進
② 授業力向上の取組（生徒、保護者による授業評価・集約・分析）
③ 学習習慣の定着（全校で取り組む朝読書、家庭学習の習慣化）

授業改善に向けた視点

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の充実	評価活動の充実	家庭・地域との連携の工夫
・全教科における興味・関心を喚起する体験的な学習内容の工夫・実践。 ・「個」の学習状況に応じた個別指導の継続・充実。	・朝読書、ＩＣＴ機器の活用、学習支援員との連携等による学習機会の充実と、学習課題提示による家庭学習習慣の定着。	・オリンピック・パラリンピック教育の推進校、コオーディネーショントレーニング拠点校としての教育活動の充実。	・観点別評価及び評定の適正実施。生徒の自己評価・授業評価と保護者等の学校評価の分析及び改善策の構築・実行。	・地域の人材を活用した授業や行事の実施、公開。 ・「蒲田中学校支援地域本部」との連携・支援による教育活動の充実。